

# モジャコ漁場一斉調査

天真正勝・鎌田信一郎・勝瀬富雄・須原 修・  
三好亮徳・藤岡保史・渋江 文・三浦 勇

モジャコ漁業解禁に先立ち、流れ藻及びモジャコの来遊状況と漁場環境について事前調査を実施し、調査結果を関係機関へ情報提供した。なお、本調査は平成21年度資源評価調査事業により実施した。

## 調査方法

- 1)調査日 平成21年4月24, 28日及び5月20日
- 2)調査船 漁業調査船「とくしま」(80トン, 1200馬力)
- 3)調査内容

図1及び図2に示した航跡上で、目視により潮境や流れ藻を確認し、網口9.5mのまき網を用いて流れ藻を採集した。そして、直ちに船上で流れ藻からモジャコ等の魚介類を分別し、氷冷して水産研究所へ持ち帰った。その魚介類は流れ藻毎に魚種査定を行い、モジャコは個体別の尾叉長と体重を、その他の魚介類は個体数のみを計数した。

その他、古野電気製水温計T120-Eで表層水温の連続観測を行った。

## 結 果

採取した流れ藻は4月では図1に示した地点で計3個、

5月では図2に示した地点で計3個の合計6個であった。それら流れ藻があった地点での表層水温は4月では18.5 ~ 21.4 , 5月では20.2 ~ 22.1 であった。モジャコは4月28日の流れ藻採集地点 以外で採捕され、4月では計35尾、5月では180尾の合計215尾であった。

このモジャコの尾叉長は、4月では表1及び図3のとおり13~47mm、5月では表1及び図4のとおり19~71mmであった。その他、モジャコ以外にはボラ、メバル属、カワハギ属等がみられた。

以上の結果は「モジャコ漁場調査結果(速報)」として随時関係機関へ情報提供した。

平成21年度の徳島県におけるぶり稚魚(もじゃこ)特別採捕期間は一部地区の延長を含め5月9日から6月7日までであった。関係漁協からの聞き取りでは、期間中の流れ藻の数はまずまずであり、魚体は小さいながら良好な採捕であった。

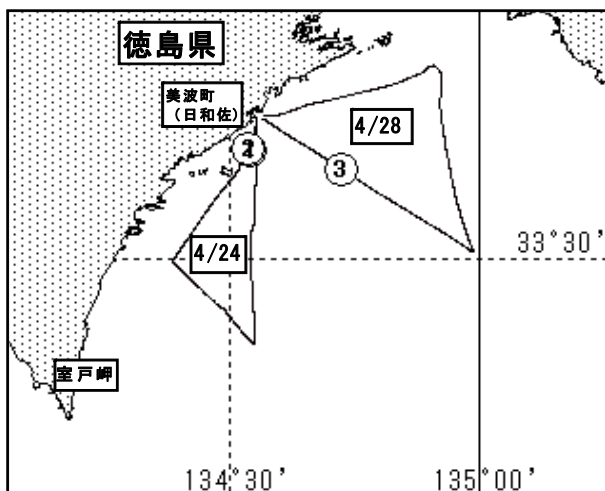


図1. 平成21年4月24, 28日のモジャコ調査航跡及び流れ藻採集地点( ~ : と は近傍している。)

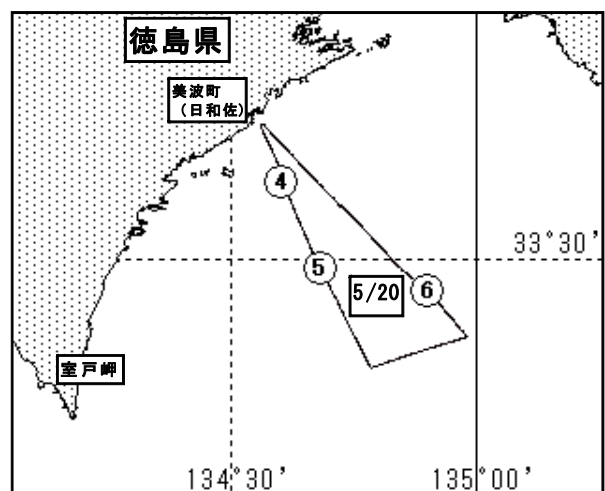


図2. 平成21年5月20日のモジャコ調査航跡及び流れ藻採集地点( )

表1. 平成21年度 モジャコ調査結果概要

採集 月日	採集 地点	緯度経度(世界測地系WGS-84)		表層水温 (°C)	流れ藻		採集 方法	モジャコ 採捕数	モジャコ FL(mm)		
		北緯	東経		直径(m)	色					
4/24	①	33°	40.09'	134°	32.61'	20.2	1.0	黄褐色	巻網	17	13~36
	②	33°	40.28'	134°	32.38'	20.1	1.0	黄褐色	巻網	18	14~47
4/28	③	33°	38.39'	134°	43.38'	18.5	0.5	褐色	巻網	-	-
5/20	④	33°	37.36'	134°	36.19'	20.2	2.5	黄褐色	巻網	45	19~63
	⑤	33°	29.05'	134°	40.93'	21.4	1.0	黄色	巻網	108	19~57
	⑥	33°	26.89'	134°	54.04'	22.1	0.5	黄色	巻網	27	23~71
									合計	215	13~71

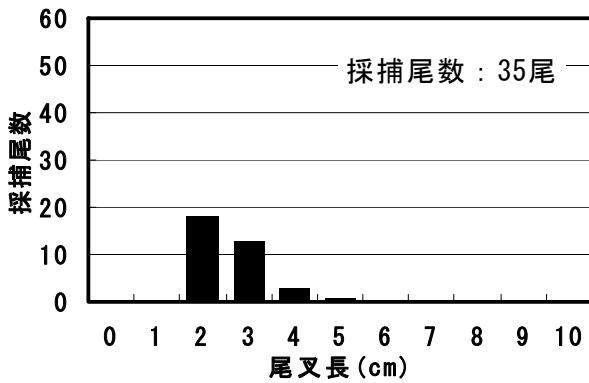


図3. 平成21年4月にされたモジャコの尾叉長組成  
(4月24日のみ、28日は採捕なし)

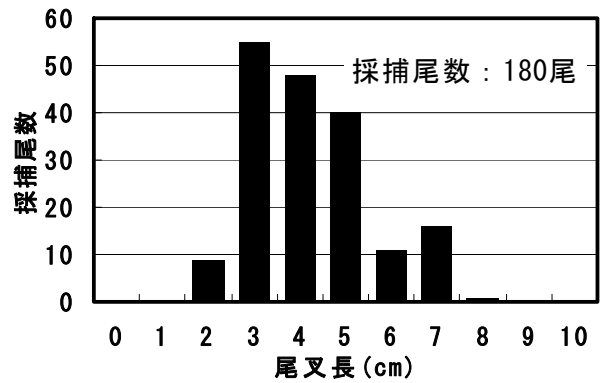


図4. 平成21年5月に採捕されたモジャコの尾叉長組成  
(5月20日)